

次世代園芸プロフェッショナルを養成する新特別カリキュラム

# 園芸産業創発学プログラム

園芸学科・食料資源経済学科



高度生産技術

技術開発力



次世代園芸産業の発展を担う人材の育成

戦略的  
経営センスグローバル化  
対応

日本の園芸産業の発展や新たな園芸ビジネスへの  
挑戦に強い志を持った入学志願者を広く求めます。

# 園芸産業創発学プログラム

植物工場や大規模施設園芸をはじめとする次世代園芸技術の発展、家族経営から企業的経営への転換、他産業から園芸産業への新規参入など現在日本の園芸産業界は大きな転換期を迎えています。それとともに、これら園芸産業に携わる人材に求められる能力も大きく変わりつつあります。

千葉大学園芸学部では、これら社会的要請に対応して次世代の園芸産業の発展・展開を担うプロフェッショナル人材の育成を目的に、園芸学科および食料資源経済学科に学科横断型の特別カリキュラムである**園芸産業創発学プログラム**を設置しました。

園芸産業創発学プログラムでは、学内にある豊富な植物工場、次世代施設園芸施設等を用いた教育だけでなく、国内外の先進的農業法人や園芸関連企業等での中長期インターンシップや実践演習を行うことにより、グローバルな視点で日本の農園芸産業を考えることができ、かつ即戦力となりうる高い課題解決能力を持ったプロフェッショナル人材の育成を行います。

農園芸産業および関連技術に強い関心があり、将来農園芸ビジネスに関わりたい、あるいは自ら新たなビジネスを創りたいという意欲を持ち、日本の農園芸産業の発展に強い志を持った人材を求めます。

園芸産業創発学プログラムのカリキュラムを履修するには**園芸産業創発学プログラム選抜**により入学する必要があります。

## 園芸産業創発学プログラムのカリキュラムの特徴

- ・園芸学科、食料資源経済学科横断型カリキュラムによる高度先進的生産技術＋経営センスの修得
- ・5年修了を目指した学士・修士一貫教育課程
- ・国内外の農園芸産業界と連携した長期インターンシップ(6か月)(課題解決演習型卒業研究)
- ・園芸産業創発学専門科目での少人数濃密指導
- ・農園芸産業界と連携した科目の設置と実践演習
- ・早期からの専門分野の決定

卒業後の進路を見据えて以下の6つの能力向上を重視した教育を行います。

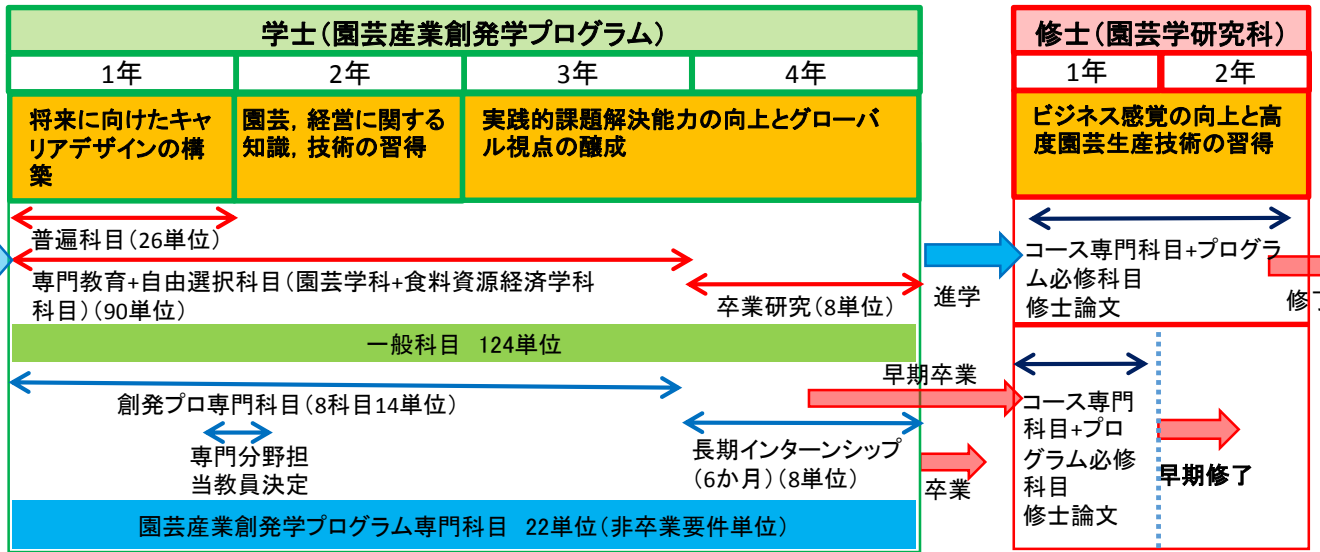


企業的農園芸経営者(自営, 新規参入), 植物工場・大規模施設園芸農場マネージャー, 農園芸技術開発者, 農園芸経営・技術コンサルタント, 海外農業・農場プロジェクトリーダーなど



# 園芸産業創発学プログラムのカリキュラム

園芸産業創発学プログラム選抜



## 園芸産業創発学プログラム専門科目の紹介

園芸産業創発学プログラムでは、プログラム履修学生のみを対象とした以下の9科目を開講します。これらの科目では担当教員や園芸産業界の第一線で活躍する外部講師と非常に近い距離で少人数濃密指導を行うことにより、より早期から高度な専門性やビジネス・国際感覚、課題解決能力を、また卒業後に即戦力として園芸産業界で活躍できるスキルを身に付けることを目指しています。

**園芸産業創発学プログラム演習Ⅰ・Ⅱ(1年次)**: 国内の先進的園芸産地、植物工場、市場、流通現場等の視察を行います。



**園芸産業創発学プログラム入門(1年次)**: 園芸産業(果樹、野菜、花卉を中心に)の現状と課題について生産技術面および経営・経済面から1年次生向けにわかりやすく解説します。

**園芸産業創発学プログラム演習Ⅲ(2年次)**: 研究論文や実用記事などを元にした事例研究・発表・ディスカッションや園芸生産現場の調査や課題探索、それに関するディスカッションを行い、基礎的な課題解決能力の向上を図ります。

**園芸産業創発学プログラム栽培技術論(2年次)**: 農場実習と連携し、果樹、野菜および花卉栽培における生産技術理論に特化した講義を行います。

**園芸産業創発学プログラム短期インターンシップ(2年次)**: 企業の農園芸経営体、植物工場、園芸関連企業等で約2週間程度のインターンシップを行います。このインターンシップは、主に生産現場での現状や課題を理解し、今後の大学での学習・研究活動に活かしていくことを目的としています。

**園芸産業創発学プログラム基礎研究Ⅰ・Ⅱ(2・3年次)**: 園芸産業創発学プログラム履修生は1年次の終了時に専門分野を決定します(一般の学生は3年次)。この科目では担当教員のもとで課題設定、調査・研究方法の習得、実験・実習・演習を行うとともに、設定した課題についての調査・研究を行います。



**園芸産業創発学プログラム長期インターンシップ(課題解決型卒業研究)(4年次)**: 園芸関連企業、企業の農園芸経営体、植物工場等で6ヶ月間インターンシップを行います。このインターンシップでは、インターンシップ先でのプロジェクトや大学との共同研究に参画することにより、実践的な生産技術やビジネスおよび国際感覚、課題解決能力の修得を行います。このインターンシップの成果が一定基準を満たせば卒業研究の単位として認められます。



園芸産業創発学プログラムの教育は、**大学と園芸関連産業界とが連携して、皆様に学びの場を提供することが大きな特徴です**。千葉大学園芸学部では国内外の園芸関連産業界に多くの人材を輩出しており、これら産業界とは非常に強い結びつきを持っており、また、柏市にある千葉大学環境健康フィールド科学センターには、広大な都市環境園芸農場だけでなく、植物工場関連企業60社で構成するNPO法人植物工場研究会が設置され、植物工場ビジネス・研究の最前線となっております。

園芸産業創発学プログラムでは、これら園芸関連産業界と連携し、日本の次世代園芸産業を牽引する人材の育成を目指しています。

園芸産業創発学プログラムに関するお問い合わせ先

千葉大学園芸学部 園芸産業創発学プログラム担当 大川克哉(研究室 B棟106号室)  
 電話: 047-308-8835 e-mail: ohkawak@faculty.chiba-u.jp